

佐賀の元気をピックアップ

地域HOT通信

「小さな大企業」としてグランプリを獲得!



途上国の学習環境を
太陽電池で変えていきます!



かわくち のぶひろ
川口 信弘社長

太陽光発電設備の設計・施工を行う川口スチール工業(鳥栖市)が、経済誌Forbes JAPAN主催の「Forbes JAPAN SMALL GIANTS AWARD 2019-2020」で、グランプリを獲得。再生可能エネルギーの普及や途上国の電化率向上に貢献する取り組み「GOOD ON ROOFSプロジェクト」が評価されました。同社が開発した薄くて軽いフィルム状の太陽電池パネルは、高温で乾燥するアフリカの環境にも耐えられる設計。学校の電化や太陽光発電の街灯が設置されるなど普及が進んでいます。アフリカの未来を佐賀から明るく照らしています!

佐賀牛牧場の経営改善で最高賞を受賞!

唐津市で約730頭の牛を育てる宮崎 陽輔さん・舞さん夫妻が、優秀な畜産経営者を表彰する「全国優良畜産経営管理技術発表会」で最高賞となる農林水産大臣賞を受賞しました。県畜産協会が実施する「経営診断」を取り入れ、子牛仕入価格の適正化や死亡事故率の低下に従業員と一体となって取り組み、経営を改善させたことが高く評価されました。今や海外での人気も高い佐賀牛。「経営基盤をしっかり固めて規模を拡大し、輸出にも力を入れていきたい」と宮崎さん夫妻の夢は膨らみます。



小林副知事へ今後の展望を熱く語る
宮崎さん夫妻(中央・右)

NEXT GENERATION

新しい佐賀をつくる若者たち

ネクストジェネレーション



なかしま みき
中島 美紀さん

1988年、小城市生まれ。3歳で書道を始め佐賀北高校書道科で学ぶ。国内外で活動し、2018年には世界的アートフェア「SCOPE Art Show」でイベント史上初のライブパフォーマンスが好評を博した。

詳しくは
ホームページへ▶



書の魅力を世界に広めるアーティスト

のびやかな筆使いと豊かな色彩感覚が特徴の書作家中島さん。見る人に元気や安らぎを与えたいと、言葉に思いを込めて創作した作品は世界中の人々を魅了しています。

サーカスなど他分野とのコラボレーションで表現の幅を広げる一方、書を身近なアートとして感じられるように海外でも書道を教えたり、ファッションに取り入れたりして書の魅力を広めています。

同郷の偉人で書聖と称される中林梧竹を尊敬する中島さんは、幼い頃から作品を見て育ち、余白の美しさを自身も追求しているそう。「書をやめなくなった時、佐賀に帰ると書きたい気持ちが溢れてきました。もっと佐賀でも活動をしていきたいです」と微笑みます。世界を舞台に中島さんの情熱はカラフルに輝いています。



色鮮やかな作品が並ぶアートフェア「SCOPE Art Show」(ニューヨーク)での個展



「JAPANフェス」(ニューヨーク)でライブパフォーマンスを披露する中島さん

01

KENSEI TOPICS

ほっとかないで、ほっとしよう。

子宮頸がんは“防げるがん”です



各市町の子宮頸がん検診で
HPV検査が無料で受けられます

子宮頸がん検診

自己負担額 無料~2,000円前後
※お住まいの市町によって異なります

無料 HPV検査

対象 県内にお住まいの30~44歳の女性
※過去2年間にHPV併用検査を受けて、「異常なし」だった方を除きます

問 お住まいの市町のがん検診担当課に
お問い合わせください

特別インタビューを公開!

佐賀県女性のがん対策応援団の優木まおみさんからのメッセージをご観いただけます。

ほっとかないで、
ほっとしよう。
はじめよう、
子宮頸がんの定期検診を。



子宮頸がんのことや
特別インタビューはこちら



佐賀県は、子宮がんの死亡率が全国ワーストレベル。中でも若い方の発症が多い子宮頸がんの主な原因は、ほとんどの女性が一生に一度は感染するHPV(ヒトパピローマウイルス)です。たとえHPVに感染しても子宮頸がん検診時にHPV検査を受ければ、がんになる前の細胞をより早く発見できます。定期的な検診で子宮頸がんを防ぎましょう。

トピックス

小児・AYA世代*がん患者へのサポートが始まります

*AYA世代(Adolescent and Young Adult)・・・15~39歳

40歳未満の若年がん患者を対象に、精子や卵子等の採取・凍結といった妊よう性(妊娠するための力)温存治療費用や、在宅ケア費用の助成を今年度から実施します。

詳しくは ▶ がん撲滅特別対策室 ☎0952(25)7491 ✉kenkouzoushin@pref.saga.lg.jp

がんポータルさが 検索



02

KENSEI TOPICS

人の営みと自然が織りなす景観

棚田を未来につなげよう



守ろう・活かそう佐賀の棚田

佐賀県棚田地域振興計画

1 移住・定住の促進

2 農村交流・体験の促進

3 棚田景観の保全・活用

4 農作物の生産・加工・販売の促進

5 国土保全や地域社会の維持

6 観光の促進

7 自然環境の保全

他にも さまざまな施策が進行中!

交流イベントも開催!

4~6月 棚田ウォーク(唐津市肥前町・相知町)

9月 ひらの棚田稲刈りと散策
(多久市西多久町)

江里山彼岸花祭り(小城市小城町)

10月 ふるさとの灯りコンサート
(唐津市相知町)

11月 秋に咲くひまわり園(みやき町中原)

オリジナル棚田カード登場!

県内7地区の棚田の魅力コンパクトにまとめたカードを作成。棚田周辺の施設や市町などで配布しています。

これからもっと
増えるよ!

美しい景観の棚田には、洪水防止や自然環境の保全など、さまざまな機能があります。しかし、地域によっては、高齢化や担い手不足などで耕作放棄される棚田が増えていきます。県では棚田の保全に必要な7つの施策をまとめた「佐賀県棚田地域振興計画」を策定し、地域が行う取り組みを支援していきます。県の貴重な財産である棚田を守り育てていきましょう。

詳しくは ▶ 農山漁村課 ☎0952(25)7124 ✉nousangyoson@pref.saga.lg.jp

県内の棚田情報はこちら▶

